ときの玉手箱

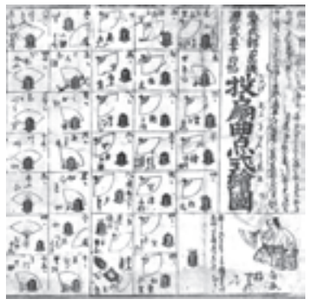
～博物館からのメッセージ～

移り変わる扇の遊び ～扇合わせ、扇流し、投扇興～

扇は、あおいで風をおこし、涼をとるための道具です。古代中国で生まれた団扇を起源とし、奈良時代頃に日本にもたらされました。その後、長い歴史の中で形や使用法が洗練され、日常の生活だけでなく、茶道や香道、能狂言などの芸能の分野でも、必須の道具として用いられるようになりました。

扇を用いた遊びも、さまざまなものが考案されました。古く平安時代にまで遡る遊びとして知られるのが、扇に詩歌や絵を書き付けたり、美しい装飾を施してその出来を競い合う扇合わせです。例えば、「古今著聞集」に、能書で知られる藤原行成（972～1027）が、宮中で行われた扇合わせに参加した際の逸話が残されています。参加者が皆、珠玉や金銀で飾り立てた扇を用意した中で、行成は、黒塗の骨に黄紙を張って、漢詩を草書と楷書の2種の字体を混ぜて書き表したものを出したところ、最も評価されたという話です。この逸話から、ただ美しさや豪華さだけが競われたのではなく、どのような詩歌を書くのかということや、新しさを感じさせるかどうかなども重視されたことが分かります。教養の高さや創意工夫が求められる遊びだったといえるでしょう。

▶写真1　扇面散図襖　狩野永岳筆



▶写真2　投扇曲点式絵図　部分

室町時代になると、美しい装飾を施した扇を川などに流して、その様子を見て楽しむ扇流しが行われるようになりました。後に、その華麗な情景は、種々の工芸品の模様に表現されるようになります。写真1の襖絵に表現されているような扇面散らしの意匠は、この扇流しを元に作り出されたもの。日本美術の伝統を感じさせる雅なデザインとなっています。視覚的な美しさが主眼となる遊びであるがゆえに生まれた表現といえるでしょう。

さらに時代が下り、江戸時代後期から明治時代の頃に流行した遊びが、投扇興です。今では、いわゆる茶屋遊びの一つとして知られるもので、扇を1mほど離れた的に向かって投げ、扇と的の落ち方で点数を付けて優劣を競います。的は、枕と呼ばれる箱の上に、蝶と呼ばれる銀杏形の作り物を乗せた形となっています。写真2は点数の付け方を表した表で、54通りの的の落とし方と源氏物語五十四帖の帖名にちなんだ呼び名が記載されています。写真3は表の一部で、扇が枕に寄りかかり、扇の地紙の部分に蝶が乗った様子が表され、95の得点と「みのり」の名が記されています。

投扇興は、遊び方が簡単なことから、大人子どもを問わず参加できる遊びでした。特に、酒宴の席の余興としても愛され、金銭や物を賭けて行われることも多く、扇合わせや扇流しに比べると、庶民的で楽しい雰囲気のある遊びだといえるでしょう。

▶写真3　同部分

これまで見てきたように、扇という同じ道具を用いながらも、流行した時代や享受した人の価値観などの違いにより、異なる趣の遊びが生み出されていたことが分かります。

現代は、最新の技術を駆使した多様な遊びのツールにあふれていますが、扇遊びをはじめとする日本の伝統的な遊びに触れ、その面白さとともに、歴史や文化の移り変わりを感じとってみてはいかがでしょうか。

（彦根城博物館学芸員　奥田晶子）

写真の作品は、テーマ展「雅な遊び」で、9月8日㈮～10月11日㈬まで展示します。（期間中無休）

第253回

博物館だより

彦根城博物館 ☎ 22-6100・FAX 22-6520
URL　http://hikone-castle-museum.jp/

開館時間　8：30～17：00（入館は16：30まで）

テーマ展

9月5日㈫まで

「日本刀鑑賞のススメ －井伊家伝来名刀尽－」

独特の反りをもつ日本刀。武器としての機能はもちろん、その美しさは国内外から高く評価されています。本展では、井伊家伝来の刀剣を通して、日本刀の見方と魅力を紹介します。

テーマ展

9月8日㈮～10月11日㈬

「雅な遊び」

▲朱漆塗鳥籠(しゅうるしぬりとりかご)・螺鈿籠桶(らでんかごおけ)

古来、宮中で愛された詩歌管弦（しいかかんげん）をはじめとする種々の雅な遊びは、武家にも広く取り入れられ、親しまれてきました。本展では、碁盤（ごばん）や香道具、雅楽器、鳥籠など、雅な遊びにまつわる井伊家伝来の品々を紹介します。

ギャラリートーク
9月9日㈯ 11:00～11:30、14:00～14:30
※事前申込:不要　場所:展示室1

観覧料が必要

常設展示の名品

― 常設展示の名品 ―

“ほんもの”との出会い

常設展示「“ほんもの”との出会い」では、譜代大名筆頭・井伊家に伝来した名宝を中心に80点あまりを展示しています。

10月11日㈬まで

「浦嶋図　元信印　近衛稙家賛」

長く伝えられてきた茶道具を「浦嶋」と名付けて、寿(ことほ)ぎのために制作した一幅。狩野派の絵師が画を描き、公卿(くぎょう)の近衛稙家が和歌を詠(よ)んで賛を書いた、室町時代の格調高い優品です。

▲浦嶋図　元信印　近衛稙家賛

9月の休館日はありません。9月6日㈬～同7日㈭は展示替えのため一部閉室しています。

文化プラザだより

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター　☎27-5200（9:00～19:00）
インターネットでも購入いただけます。http://bunpla.jp/

12月17日㈰　14:00　グランドホール

ひこね発！ 手づくり第九演奏会

今年で20回目となる第九演奏会。今回より演奏会名を「ひこね発!手づくり第九演奏会」とし、さらにパワーアップして皆さまにお届けします。

この演奏会お馴染みのベートーヴェン作曲「交響曲第9番ニ短調(合唱付き)」に加え、カール・オルフ作曲の「カルミナ・ブラーナ」にも挑戦します。市内の音楽愛好家や児童合唱団を中心に、参加者全員がステージを精一杯盛り上げます。

年末の風物詩となっているこの第九演奏会。1年の締めくくりに、ぜひお越しください。

自由

【9月24日㈰9：00予約開始】
一　般 2,000円
当　日 2,500円

※未就学児は入場いただけません。
※託児サービスがあります。

チケット販売について

【各公演 発売初日の予約の取り扱い】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

◎表記のチケット価格は、全て税込価格です。
◎託児は、未就学児1人1,000円です。公演の10日前までにお申し込みください。

9月の休館日　4日㈪、11日㈪、19日㈫、25日㈪